

FHP型フォームヘッド

取扱説明書

型 式

FHP-30

FHP-60

FHP-75

NDC 日本ドライケミカル株式会社

安全上のご注意

NDC 日本ドライケミカル株式会社

このたびは日本ドライケミカルの防災製品を設置していただき、まことに有難うございました。
この取扱説明書を、熟読のうえ安全に製品をお取り扱いください。

防災設備は日常使用するものではありませんが、緊急時には確実に機能を発揮しなければなりません。
そのためには「正しい取り扱い」と「日常の維持管理」が重要です。
又、防災設備は緊急時に火災を検知、消火するための機構上、誤った取り扱いをしますと「人的損害」、「物的損害」、「二次災害等」のおそれが想定されます。

従いまして、本設備は知識のない人の取り扱いは危険で、訓練した「**管理者の育成**」が必要です。
防災設備は日常使わないため管理がおろそかになる傾向にありますが、緊急時に確実に役立つよう管理者は「**正しい取り扱い**」を習得して「**日常管理**」を行ってください。

1. この取扱説明書は管理者を含め関係者がいつでも利用できるよう管理してください。
2. この取扱説明書の記載内容についての問い合わせは弊社担当部署までご連絡ください。
3. この防災製品に異常が発見された場合や改修等を企画される場合は、弊社担当部署までご連絡ください。
防災設備の工事は有資格者の消防設備士が行うよう法律で定められております。
4. この防災製品の保守・点検は製品内容を熟知している弊社にご用命ください。
5. この取扱説明書は保証書や契約書ではありません。

本文中に用いた表示記号は次のように区分しております。



危険

この表示は防災設備を誤って取り扱った場合、死亡又は重症を負う等の重大な人的被害のおそれが想定される事項を示しております。



警告

この表示は防災設備を誤って取り扱った場合、傷害等の人的被害のおそれや、設備不動作などの機能に致命的な悪影響を及ぼすおそれが想定される事項を示しております。



注意

この表示は防災設備を誤って取り扱った場合、本設備の機能障害、誤作動、二次災害等のおそれが想定される事項や、本設備の機能維持に必要な注意事項を示しております。

I 設置上の注意



注 意

- フォームヘッドは、法令の設置基準に準じて配置してください。
- フォームヘッドは、デフレクターを水平にして取り付けてください。
- フォームヘッドは、配管内のフラッシングを充分に行ってから取り付けてください。
- フォームヘッドには、塗装しないでください。又、金網が変形したフォームヘッドは使用しないでください。性能低下の原因となります。
- 配管内に錆、ゴミ等が発生する所にフォームヘッドを取り付ける場合は、フォームヘッドの上流にストレーナーを取り付けてください。(FHP-30型フォームヘッドの場合、ストレーナーのスクリーンは18メッシュ相当(20～30メッシュ相当を推奨)より細かいものを使用してください。)

II 維持管理上の注意



注 意

- 消防法で定められている定期点検(1年に1回以上)を必ず実施してください。
- 定期点検は、危険物取扱者等の有資格者が行ってください。
- フォームヘッドに有害なキズ、割れ、変形などの異常が目視確認された場合や、泡放射性能に異常があった場合は、速やかに修理・交換を行ってください。
- 定期点検以外にも日常的に点検を行い、フォームヘッドに有害なキズ、割れ、変形などの異常が目視確認された場合は、速やかに修理・交換を行ってください。

III 仕様



注 意

- 本書に掲げる仕様以外の条件では使用しないでください。発泡性能を損なうおそれがあります。

目 次

1. 適 用	2 頁
2. 各部の名称	2 頁
3. 製品の概要	3 頁
4. 設置上の注意	3 頁
5. 維持管理上の注意	3 頁
6. 仕 様	4 頁
6.1 仕様	4 頁
6.2 放射量特性	5 頁
6.3 放射パターン	6 頁
7. 図 面	9 頁

1. 適用

本取扱説明書は、泡消火設備用「FHP型フォームヘッド」の、仕様・機能・取り扱い等に関する説明書です。本フォームヘッドをご使用の際は、本取扱説明書の内容を十分に理解され、正しくお使いください。

2. 各部の名称

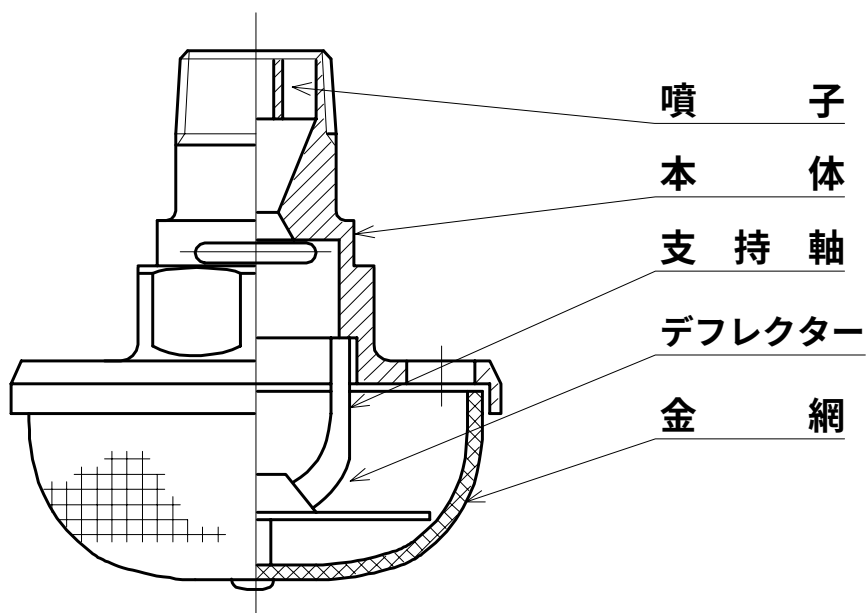


図1. FHP-60型、FHP-75型外観図

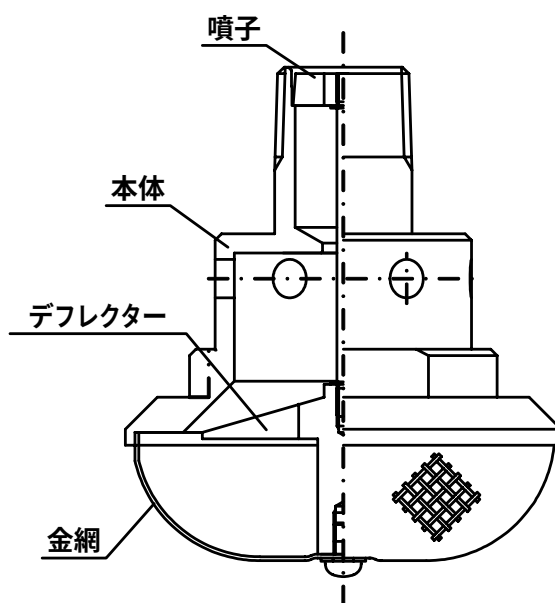


図2. FHP-30型外観図

3. 製品の概要

FHP 型フォームヘッドは、危険物施設の固定式泡消火設備に使用します。

FHP 型フォームヘッドは、たん白泡消火薬剤と水成膜泡消火薬剤に使用することができ、優れた発泡性能を有する小型で軽量のフォームヘッドです。

型式は放射量により FHP-30 型、FHP-60 型及び FHP-75 型の 3 種類があります。

FHP-30 型フォームヘッドは小水量であるので、防火対象物に対して、FHP-60 型や FHP-75 型と組み合わせて設置すると、泡薬剤、配管サイズ等が縮小することができます。

火災発生時は 3 % 又は 6 % 混合の泡水溶液がフォームヘッドまで送液され、フォームヘッド内部の噴子、デフレクター、金網により、吸気口から吸引された空気と混合、発泡拡散し、対象防護区画を泡で覆い火災を消火します。

4. 設置上の注意

 注 意
●フォームヘッドは、法令の設置基準に準じて配置してください。 ●フォームヘッドは、デフレクターを水平にして取り付けてください。 ●フォームヘッドは、配管内のフラッシングを充分に行ってから取り付けてください。 ●フォームヘッドには、塗装しないでください。又、金網が変形したフォームヘッドは使用しないでください。性能低下の原因となります。 ●配管内に錆、ゴミ等が発生する所にフォームヘッドを取り付ける場合は、フォームヘッドの上流にストレーナーを取り付けてください。(FHP-30 型フォームヘッドの場合、ストレーナーのスクリーンは 18 メッシュ相当 (20 ～ 30 メッシュ相当を推奨) より細かいものを使用してください。)

5. 維持管理上の注意

 注 意
●消防法で定められている定期点検 (1 年に 1 回以上) を必ず実施してください。 ●定期点検は、危険物取扱者等の有資格者が行ってください。 ●フォームヘッドに有害なキズ、割れ、変形などの異常が目視確認された場合や、泡放射性能に異常があった場合は、速やかに修理・交換を行ってください。 ●定期点検以外にも日常的に点検を行い、フォームヘッドに有害なキズ、割れ、変形などの異常が目視確認された場合は、速やかに修理・交換を行ってください。

6. 仕様等

6.1 仕様



注 意

●本書に掲げる仕様以外の条件では使用しないでください。発泡性能を損なうおそれがあります。

表1. フォームヘッド仕様一覧表

型式記号		FHP-30	FHP-60	FHP-75
標準放射圧力 (MPa)		0.35		
標準放射量 (L/min)		30	60	75
放射圧力範囲 (MPa)		0.25~0.50	0.25~0.70	0.23~0.70
放射量範囲 (L/min)		25~36	51~85	60~108
ヘッドの取付高さ			2.1m以上	
ヘッド取付ピッチ			注) 正方形配置で最大3m	
ヘッド取付ネジ		R1/2	R3/4	
発泡倍率	たん白泡 消火薬剤	6倍以上		
	水成膜 泡消火薬剤	5倍以上		
25%還元時間		1分以上		
質量		0.27kg	0.49kg	
適用泡消火薬剤		【たん白泡消火薬剤】 耐寒 3% (泡第51~3号) 耐寒 6% (泡第51~21号) 超耐寒 3% (泡第52~1号) フロロフォーム 3% (泡第52~5号) フロロフォーム超耐寒 3% (泡第5~1号) アルコエース6-6 6% (泡第3~7号) アルコエース3-3 3% (泡第62~3号) アルコエース3-6 3% (泡第57~3号) アルコエースXL 6% (泡第10~2号) アルコエースXL-3 3% (泡第13~8号) 【水成膜泡消火薬剤】 サーフウォーター 3% (泡第56~3号) サーフウォーターⅡ 3% (泡第4~5号) サーフウォーターⅢ 3% (泡第10~6号) サーフウォーター超耐寒 3% (泡第6~6号)		

注) FHP-60型フォームヘッドの時

放射圧力0.25MPa以上0.35MPa未満で使用する場合、ヘッド取付ピッチは放射量を51L/minとして計算するので、正方形配置で最大2.8mとなります。

6.2 放射量特性

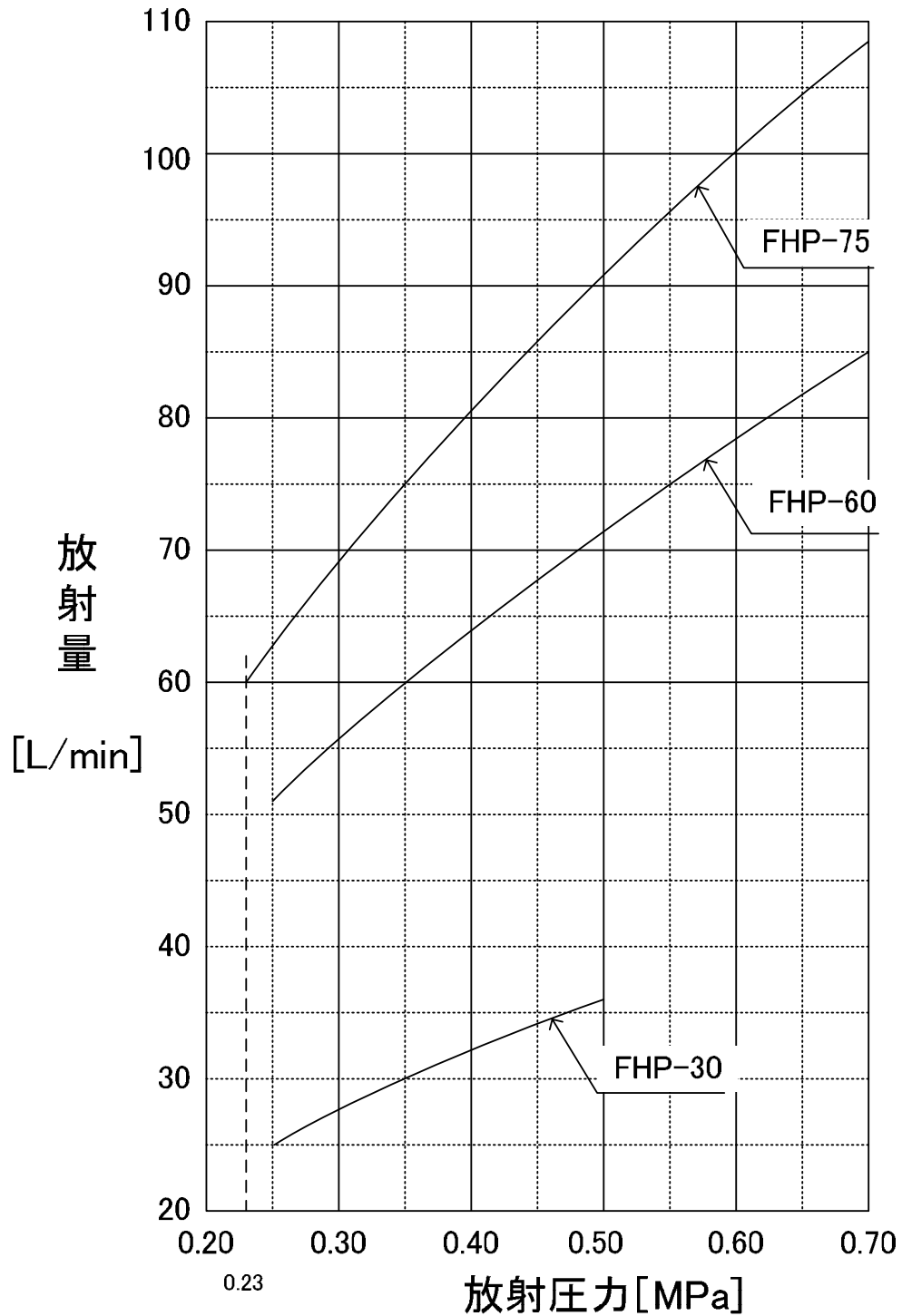


図3．放射量特性図

6.3 放射パターン

- ・ FHP-60 型フォームヘッド

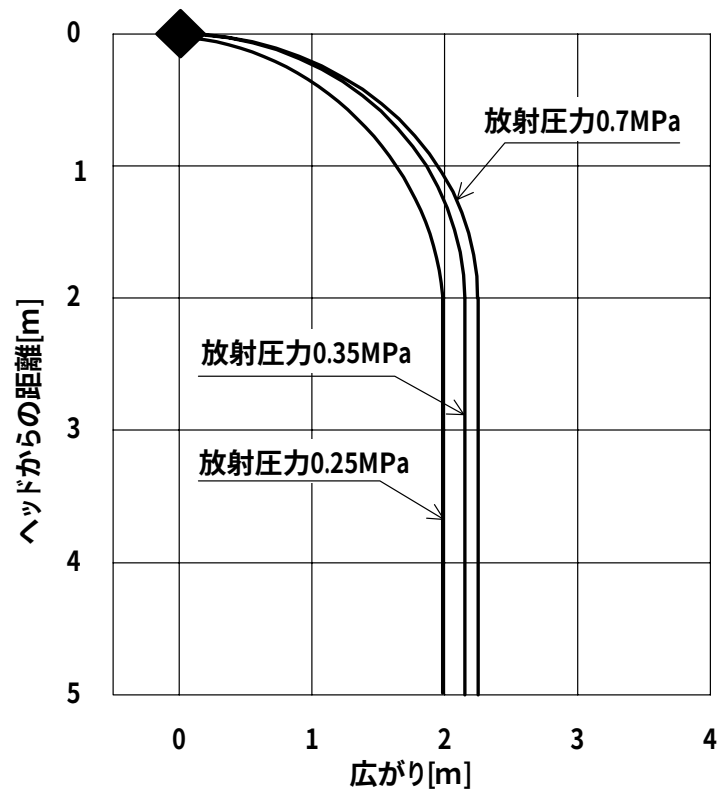


図4．FHP-60型放射パターン

- ・ FHP-75 型フォームヘッド

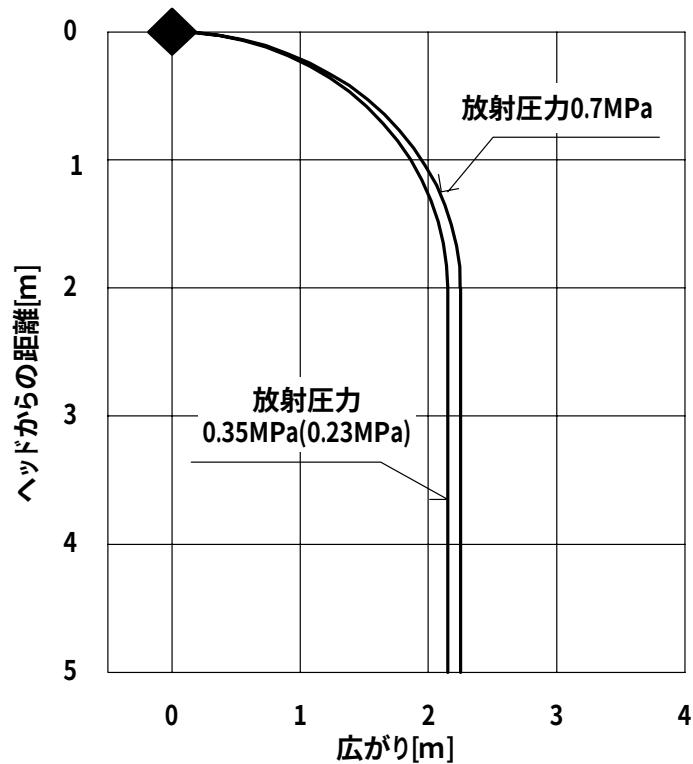


図5．FHP-75型放射パターン

・ FHP-30 型フォームヘッド

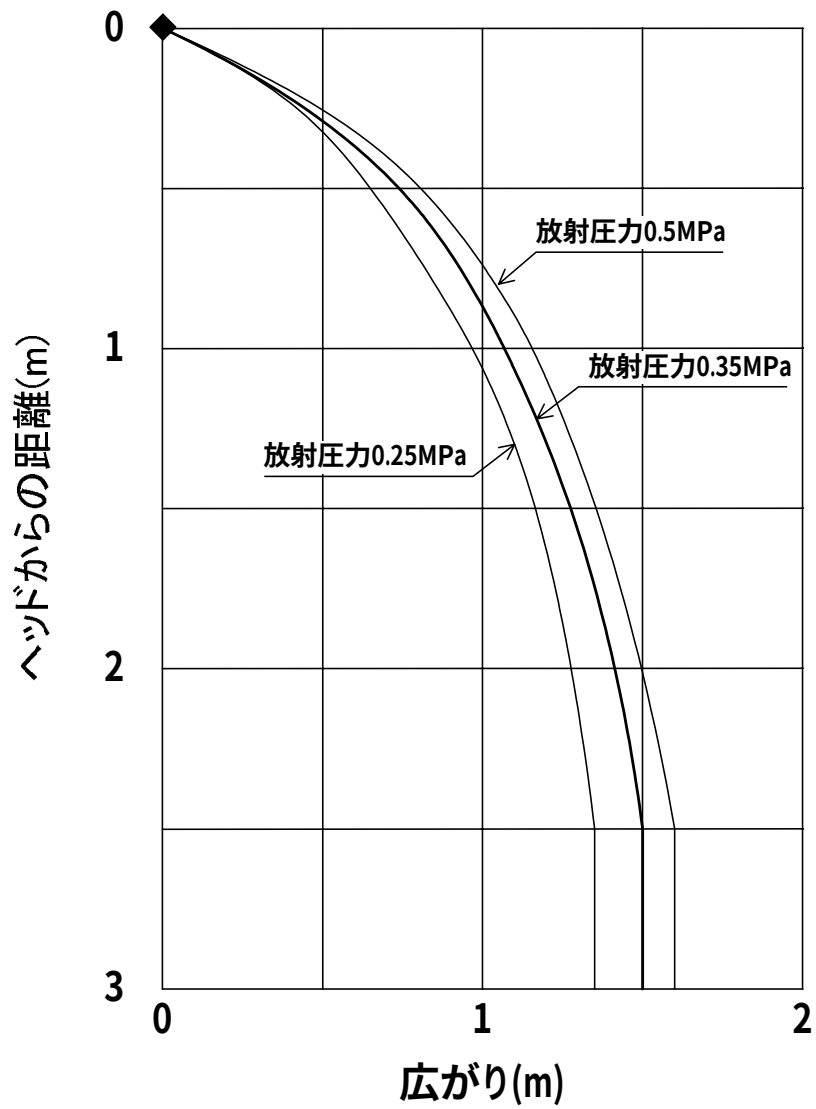


図6．FHP-30型放射パターン（垂直放射）

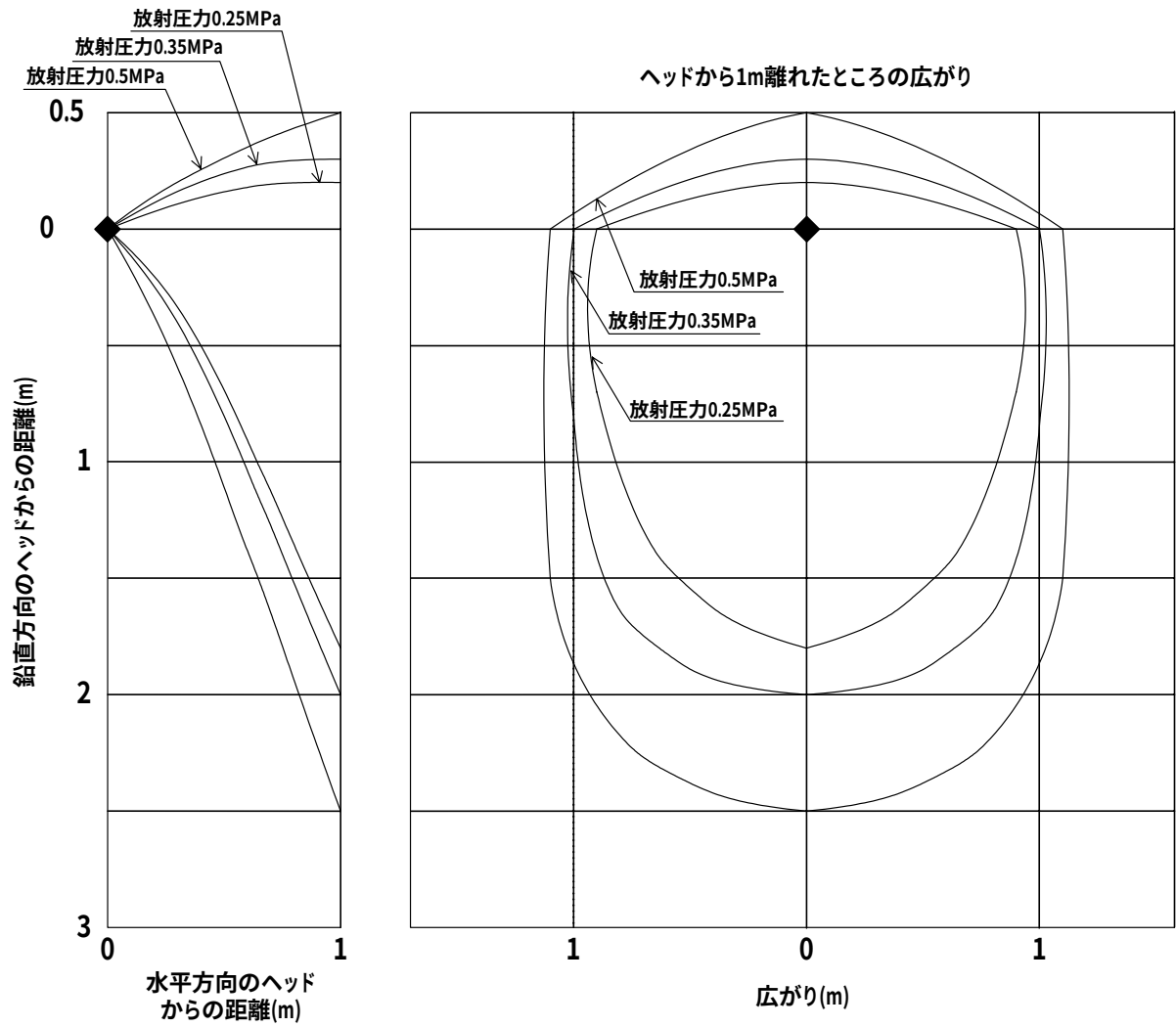


図7．FHP－30型放射パターン（水平放射）

7. 図 面

弊社発行の商用図面をご参照ください。

表 2. 商用図面番号

型式記号	図面番号
FHP-30	CFM308
FHP-60	CFM234
FHP-75	CFM273

●お問い合わせ先

FSG1106R1